

ネイティブウサギホスホリラーゼa

Cat. No. NATE-0562

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ホスホリラーゼAは、グリコーゲンと無機リン酸 (Pi) をグルコース1-リン酸 (G-1-P) に交換するグリコーゲンホスホリラーゼの活性型です。ホスホリラーゼAは、以下の化合物によって抑制されることがあります: ポリ塩化ビフェニル、ポリ塩化ビフェニルオール、ポリプロモビフェニル。二量体ホスホリラーゼbは、ホスホリラーゼキナーゼの作用によって、より活性の高い四量体であるホスホリラーゼaに交換されます。

用途 ウサギ筋肉由来のホスホリラーゼは、オレアノール酸の分子メカニズムを評価する研究に使用されました。また、32P-ATPの存在下での交換酵素を介して、ホスホリラーゼBからAへの交換を説明する研究にも使用されました。

別名 ホスホリラーゼa; EC 2.4.1.1; 9032-10-4; 筋肉ホスホリラーゼaおよびb; アミロホスホリラーゼ; ポリホスホリラーゼ; アミロペクチンホスホリラーゼ; グルカンホスホリラーゼ; α -グルカンホスホリラーゼ; 1,4- α -グルカンホスホリラーゼ; グルコサンホスホリラーゼ; グラニューロースホスホリラーゼ; マルトデキストリンホスホリラーゼ; 筋肉ホスホリラーゼ; ミオホスホリラーゼ; ジャガイモホスホリラーゼ; デンプンホスホリラーゼ; 1,4- α -D-グルカン:リン酸 α -D-グルコシルトランスフェラーゼ; ホスホリラーゼ (あいまい)

製品情報

種	ウサギ
由来	ウサギの筋肉
形態	β -グリセロホスフェートとEDTAを含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.4.1.1
CAS登録番号	9035-74-9
純度	2× 結晶化
活性	20-30 ユニット/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 6.8、30°Cで、グリコーゲンと無水リン酸から1分あたり1.0 μ moleの α -D-グルコース1-リン酸を形成します。この測定は、ホスホグルコミューターズ、NADP、およびグルコース-6-リン酸脱水素酵素を含む系で行われます。(1 μ mol単位は約45コリ単位に相当します。)

保管・発送情報

保存方法 -20°C